# 住宅性能証明書発行業務手数料一覧

公益財団法人 東京都防災・建築まちづくりセンター 2025.11.1

# 1) 一戸建て住宅の場合

## ■ 住宅性能証明書

(単位:円、税込の金額です。)

<b>一 正 [正 [正 [ ] ] [ ]</b> (十 [ ] ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )							
種別	性能区分			手数料			
住宅の新築又は	省エネルギー性	断熱等性能等級かつ一次	一般	82, 500			
新築住宅の取得		エネルギー消費量等級	審査の省略ができる場合	60, 500			
	耐震性 バリアフリー性		一般	71,500			
			審査の省略ができる場合	44,000			
			一般	55,000			
			審査の省略ができる場合	33,000			
	・審査の省略ができる場合とは、評価書等(設計住宅性能評価書、長期優良住						
	審査適合証、低炭素建築物技術的審査適合証、フラット35 S 適合証明書等)の結果を活用できる場合をいう。						
既存住宅の取得	省エネルギー性	断熱等性能等級	一般	55,000			
			審査の省略ができる場合	33,000			
		一次エネルギー消費量等	一般	71,500			
		級	審査の省略ができる場合	44,000			
	耐震性		一般	71,500			
			審査の省略ができる場合	44,000			
	バリアフリー性		一般	55,000			
			審査の省略ができる場合	33,000			
・審査の省略ができる場合とは、評価書等(建設住宅性能評価書(新築・既							
	家屋の取得の日から3年以上前の交付のもの]、フラット35 S 適合証明書等)の結果を活用						
	できる場合をいう。						

# 2) 共同住宅の場合 (耐震性は別途見積り)

## ■ 住宅性能証明書

(単位:円、税込の金額です。)

種別	性能区分			手数料		
住宅の新築又は	省エネルギー性	断熱等性能等級かつ一次	一般	82, 500		
新築住宅の取得		エネルギー消費量等級	審査の省略ができる場合	60, 500		
	耐震性		一般	別途見積		
			審査の省略ができる場合	<b>加亚凡惧</b>		
	バリアフリー性		一般	55,000		
			審査の省略ができる場合	33,000		
	・審査の省略ができる場合とは、評価書等(設計住宅性能評価書、長期優良住宅技術的					
	審査適合証、低炭素建築物技術的審査適合証、フラット35 S 適合証明書等)の結果を活					
	用できる場合をい	う。				

既存住宅の取得	省エネルギー性	断熱等性能等級	一般	55,000	
			審査の省略ができる場合	33,000	
		一次エネルギー消費量等	一般	71,500	
		級	審査の省略ができる場合	44,000	
	耐震性		一般	即冷日往	
			審査の省略ができる場合	別途見積	
	バリアフリー性		一般	55,000	
			審査の省略ができる場合	33,000	
	・審査の省略ができる場合とは、評価書等(建設住宅性能評価書(新築・既存[既存住宅用 家屋の取得の日から3年以上前の交付のもの]、フラット35 S 適合証明書等)の結果を活用				
	できる場合をいう	0			

#### 3) その他料金等

- 1:現場審査において、再審査を行う場合の料金は、一回につき16,500円(税込金額)とする。
- 2:次に揚げる場合は、手数料を減額できるものとする。
  - ①センターが実施する他の業務を同時に引き受けた場合
  - ②審査が効率的に実施できるとセンターが判断をした場合
- 3:併用住宅(住宅の用途以外の用途に供する部分を有する戸建の住宅)の料金は、一戸建ての料金を適用する。
- 4: 島しょ部の業務については、交通費及び1日につき22,000円(宿泊を要する場合は35,200円)を加算する。

### 4) 住宅性能証明書の再発行

1通につき、2,200円(税込金額)